

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

6月に入り、モンリオール国際音楽コンクールやF1グランプリ等、国際的イベントが一斉に始まった感じがします。モンリオールの夏が近づいてきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

先日、日本語補習校の主催した「わくわくサマーキャンプ」に参加しました。初日の土曜日の夕方はすごい土砂降り、キャンプができるかと心配しましたが、豪雨の中、皆で協力してテントを立ち上げることができました。そして生徒達の思いが通じたのでしょうか、その後天候も見事に回復して、日曜日は生徒達もキャンプをエンジョイすることができました。大島校長や大石先生をはじめとして先生方、保護者の皆様方、本当にご苦労様でした。

さて、少し前になりますが、6月7日に新天皇の即位祝賀のレセプションを催しました。初めての試みとして、日本人コミュニティーの各界の方々を中心に100名程を公邸にお招きしての大規模レセプションになりましたが、皆様のご協力で恙無く執り行うことができました。ありがとうございました。その際に、小官が行った挨拶の中で、今後のケベック、モンリオールにおける日本人コミュニティーの活躍に対する期待を表明させて頂きましたので、その抜粋を紹介させていただきます。

『本日お集まり頂いた皆様のカナダ、ケベックとの関わりは千差万別です。一世、二世、三世の方々、国際結婚の方々、ビジネス、研究者、留学生、皆様本当に様々なバックグラウンドをお持ちで、それぞれ独自にケベックとの関係を築かれてきました。このような多様な日系コミュニティーの存在はカナダにおいて日本を位置づける大きな柱でありました。

そして今日、この日系コミュニティーに新しい動きも出てきています。例えば、国際結婚の増加に伴い日本語センターの生徒達は毎年増えています。ケベックシティーにおける「桜を見る会」等、新しい文化イベントも立ち上がっています。ビジネスでは例えばAI分野での協力が始まりました。JET等で多くのカナダ人が日本を経験しています。和食や日本語や日本文化への関心の高まりもあります。

今後、日系コミュニティーはどのようになっていくのでしょうか。まず重要なのは、これまで築き

上げてきたこのコミュニティの基盤を引き継いでいくことです。日本人としてのルーツや意識は大切なものですし、守っていくべきものです。そして更に重要なのは、この築かれた基盤を礎に、今後、日系コミュニティに大きな動き、流れを作り出していくことだと思えます。これからお言葉を頂く柴田さんを始め、本日ここにお集まり頂いた皆様は、この地において豊かな経験と知見、人脈があります。例えば、今後、日本から新しく来られる方々や新しいイニシアチヴを試みようとする方々にとって、皆様の存在、経験、そして皆様が築いてきたこのネットワークこそがコミュニティの貴重な財産であり、ケベックとの関係を更に大きく発展させる基盤です。「令和」は、日本においては、人々の和をもって文化・繁栄を実現していく時代になります。この地でも、この「令和」の精神に基づき、本日お集まり頂いた皆様方との「和」をもって、日系コミュニティの更なる発展を目指していきたいと思えます。』

2 総領事館からのお知らせ

- (1) 2019年6月、7月の休館日のお知らせ
 - 6月24日(月) Quebec National Holiday
 - 7月 1日(月) Canada Day
 - 7月15日(月) 海の日

3 寄稿 ～ハリファックス日本語補習授業校 校長 中元博樹より～

カナダの本土最東端大西洋に面したハリファックスは人口が50万弱の地方都市、新しいスコットランドという意味を持つノバスコシア州の州都でありモントリオール以東最大都市としての紹介は多くされていますが、1982年に函館市と姉妹都市提携を結んで以来、文化的交流はもちろんのことクリスマス時期に函館埠頭に立つ大きなクリスマスツリーを同市から送っている事実はあまり知られていないようです。1995年に先進国首脳サミット(当時:村山富一首相)が開催された街としても紹介されていることがあります。

街は東の玄関口として近年港湾・空港等のインフラ設備が拡張され寄航する貨物・クルーズ船の増加と共に、空の便もアメリカやヨーロッパを中心に国際便が増え今後の更なる経済効果も期待されているようです。

政治的には国防上重要な海軍基地がハリファックス湾内に整備され、近年次世代の護衛艦やパトロール艦の建造が進んでおり、学術的には水産・漁業資源に恵まれた歴史的な背景から海洋水産学や海洋資源・環境研究を専門とする大学・政府関係機関がいくつか存在していますが、総じて見ると水産・林業・天然資源開拓等の一次産業色が強く、当地で高校や大学を卒業していく学生たちの多くが地元での就職を強く希望する中で理想的な雇用条件を見出せずに他州へ移動せざるをえないという現実も存在するように聞いています。

日本とのつながりで見ますと函館との姉妹都市提携を除いては恒常的な日系企業の存在は殆ど無い土地柄ですが、隣接する大西洋・北大西洋は昔から魚介類の豊富な漁場として知られており、水産貿易業を中心とする日本企業駐在員の存在は僅かながらに残されており、ズワイガニ・甘エビ・オマール海老等の漁獲シーズンになれば引き続き日本から多くの購買担当者や検品員が当地やニューファンドランドを訪れ、良質な水産品の購買と日本への供給に活躍されている姿を見受

けています。

このような環境の中、当地に住まれてきた先輩方の尽力によりハリファクス日本人会という組織が構成・継承され、現在では色々な背景で当地に住むに至る約 50 家族が同会に会員登録されています。(※市内の大学や高校に通われている日本人学生さんも一定数存在すると認識していますが、日本人会に参加される傾向は少ないようです)。

私が校長を引き継ぎ平成 31 年(2019 年)4 月で 4 年目を迎えるハリファクス日本語補習授業校は、同年 3 月末で 25 名の生徒が在籍しており、生徒の保護者の多くが役員・運営補助・講師等の役割に就き、生徒を小学部 4 クラスと中学部 1 クラスに分け、7 月と 8 月を除き概ね土曜日午前を利用した日本語と日本文化の習得に努めています。

弊校の生徒の多くは国際結婚環境下で育っていますが、補習授業校という性質から家庭による保護者と生徒の日本語によるコミュニケーションと基礎学習を土台として、学校では各自の持つ日本語の読解力を可能な限り伸張させる事を目的とし、運営役員と講師が連絡を密にし学習指導要綱を参考とした学習プログラムの構成と実施を行っています。

弊校が正式に誕生した 2000 年には十分な生徒数が存在せず、予算も今以上に限られていたようで、最初の数年は市内の食料品店施設内にあるコミュニティールームをレンタルし一室を複数に分けた学習がベストな環境だったそうですが、ここ 10 年程は市内にある教会との借料契約が定着し、同教会管理棟内にある個室を 5 クラス、保護者待機室 1 室をレンタルする理想的な環境にあります。

授業では日本語の習得のみならず、できる限り母国の伝統や文化を体験して貰えるように、お正月イベント、毛筆習字教室、夏祭り、運動会を定期イベントとして授業時間を割いて主に教会内にある体育館スペースを利用して実施しています。

また、外務省のご指導により、当地の在留邦人の安全確保・危機管理体制を強化するべく、弊校では他校の例を参考として講師・役員・運営当番にトランシーバーを配布し、ロックダウン演習や火災訓練を定期的な義務として実施し、ハリファクス警察からも定期的なパトロール訪問をして頂きながら引き続きの安全運営に努めています。

ハリファクス日本語補習授業校
校長 中元博樹

4 領事便り

(1) 夏休みシーズンに海外渡航・滞在される皆様へ

ア 「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の方については、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はありません。しかし、たとえば夏季期間中、第三国にお出かけの際は是非、「たびレジ」の登録をお願いいたします。

「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から日本語のメールで最新の安全情報が届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急事態が発生した場合、被害の

状況によっては、現地の大使館・総領事館から緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

ご登録はこちらから：

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

イ 日本出入国時の顔認証ゲートについて（再度のご案内）

日本の空港において、日本人が顔認証ゲートを利用する場合、パスポートに出入国印は押されません。以下のような目的により、出入国印を希望される方は、顔認証ゲートを通過後、税関検査前までに、顔認証ゲート後方にいる職員または各審査場事務室に申し出てください。

- ・ 海外渡航中の運転免許証の有効期限経過による再取得の手続
- ・ 海外から帰国した場合における転入届に係る手続
- ・ 年金保険に関する合算対象期間（免除期間）の証明手続
- ・ 非居住者の免税手続
- ・ 外国査証の申請手続

詳細は以下の法務省HPを御参照ください。

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri07_00168.html

（２）教科書の無償給与申込みの際する日本国籍確認書類について（当館へ直接申込む方へ）

当館では、管轄地域に在住する義務教育学齢期にある日本人の子女のために、日本の教科書の無償給与を行っています。

毎年２回（春頃：後期分，秋頃：前期分）教科書の申し込みを受け付けています。

今年９月頃の来年度前期分の教科書申込み受付時より、日本国籍確認書類の提示が必要となりますのでご案内いたします。

【確認書類】

- ・ お子様の日本国旅券又は戸籍謄本（発行日から６ヶ月以内）

※教科書の無償給与対象者の条件は、日本国籍を保持する義務教育学齢期の子女とさせていただきますので、教科書の申込を行う予定の方は、あらかじめ上記書類をご準備願います。

５ 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（１）日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体（ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等）に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

(2) 日加修好90周年事業

DiverseCity Multicultural Festivals (PEI)

プリンスエドワードアイランド州で毎夏行なわれている異文化交流フェスティバルです。日本ブースの出展、よさこいのパフォーマンスなどが行われます。今年はシャーロットタウンの回（6月23日）には当館もブースを出展するほか、ハリファックス市のセントメアリーズ大学在籍の和太鼓グループによる公演が行われます。

日時：6月23日（日）－Charlottetown

7月14日（日）－Montague

7月21日（日）－Alberton

詳細はこちらから御確認ください。 <https://www.facebook.com/DiverseCityPEI/>

6 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア モントリオール市立植物園日本館展示「Hiroshima, la vie en heritage」

モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われます。（植物園入園料がかかります。）

期間：5月15日（水）～10月31日（木）

場所：モントリオール市立植物園日本館

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepourlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life-857793>

イ GO-SOMEWHERE !

5人の日本人若手芸術家 (Tomoko ASO, Akiko TAKEUCHI, Kurumi WAKAKI, Mami YONEKURA, Tsubomi YONEKURA) による作品展示がモントリオール, タドゥサック, ウェイクフィールド等, ケベック州を含む北米各地で行われます。

展示期間 : 7月13日 (土) ~ 8月28日 (水)

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.gosomewhere.ca/>

ウ 津軽三味線ワークショップ・コンサート

「モントリオール三味線プロジェクト」主催, 津軽三味線奏者板橋僚子氏によるワークショップ, 及び, 津軽三味線と太鼓のコンサートです。

日時 : 7月13日 (土)

ワークショップ : 13時~15時, コンサート : 15時半~16時半

場所 : Studio Bizz Mont-Royal

3rd floor, 551, Avenue Mont-Royal Est, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。

<https://mtlshamisenproject.com/concerts-et-evenements/>

チケット購入先 :

<https://lepointdevente.com/billets/mtl-shamisen-project-ryoko-itabashi>

問合せ先 : info@mtlshamisenproject.com

エ エスパス・ジャポンでのイベント (ケベック市)

(ア) Cine Nippon

ラヴァル大学図書館司書アニー・ベルベ氏監修の日本映画上映会です。

日時 : 9月4日 (水) ~ 11月27日 (水) 毎週水曜日 18時

場所 : ラヴァル大学図書館 4階 (Local: 4117)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4, Local: 4117

(イ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時 : 9月29日 (日) ~ 12月15日 (日)

場所 : ラヴァル大学図書館 4階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C.-Bonenfant, niveau 4

(ウ) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時 : (隔週月曜日) 10月7日, 21日, 11月4日, 18日, 12月2日

(仏語) 19時～19時45分 (日本語) 19時45分～20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, Espace Japon, niveau 00

(エ) 水墨画アトリエ

今井則子氏指導の水墨画アトリエです。

日時：11月17日(日) 13時～16時

場所：ラヴァル大学図書館4階 (Local: 4285)

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4, Local: 4285

(2) その他のイベント

ア モントリオール市立植物園日本館・日本庭園でのイベント

場所：モントリオール市立植物園日本館・日本庭園 (植物園入園料がかかります。)

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

(ア) 裏千家淡交会モントリオール支部による茶道デモンストレーション

(別途料金がかかります。)

期間：6月22日(土)～8月31日(土) 毎週土曜, 13時半及び15時 (所要45分)

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/tea-ceremony-867624>

(イ) 折り紙ワークショップ

期間：6月22日(土)～8月31日(土) 毎週土曜, 14時～16時 (所要5～15分)

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/origami-872106>

(ウ) ガイド付き茶庭ツアー

期間：6月22日(土)～9月2日(月)

土曜を除く毎日：11時～13時及び14時～16時, 土曜：11時～13時

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/guided-tours-of-the-tea-garden-871917>

(エ) All about Japanese Koi Carp (鯉に関するイベント)

日時：7月20日(土) 10時～16時 (雨天の場合翌日に順延)

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/all-about-japanese-koi-carp-867620>

イ SORAN 野外無料コンサート

歌手 SORAN がモントリオール国際ジャズフェスティバルに出演します。

日時：6月28日(金) 21時

場所：Verdan 会場 / Loto-Quebec Scene (Corner Wellington and Galt)

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.montrealjazzfest.com/fr-ca/Programmation/Concert/9923>

ウ Alex Henry Foster コンサート

当地ロックバンド Your Favorite Enemies のリーダーでヴォーカルの Alex Henry Foster がモントリオール国際ジャズフェスティバルに出演します。ステージ背景に日本で撮影したミュージックビデオの映像が流れるほか、日本語の朗読が入った曲も披露します。

日時：7月5日（金）開場20時、開演21時

場所：Club Soda

1225 St-Laurent, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.facebook.com/events/563364297506915/>

エ 1001 Pots

今年で31回目を迎える「1001 Pots」で、当地在住陶芸家の間由加里氏の作品の展示・販売が行われます。

オープニング：7月5日（金）19時～22時

期間：7月5日（金）～8月11日（日）、月曜～日曜：10時～18時

（7月5日は12時から、8月11日は17時まで）

場所：2435 Rue de l'Église, Val-David

入場料：3ドル

詳細はこちらからご確認ください。 <http://www.1001pots.com/>

オ ファンタジア国際映画祭

日本映画も多数上映されます。

期間：7月11日（木）～8月1日（木）

詳細はこちらから御確認ください。

<https://www.facebook.com/FantasiaFilmFestival/>

カ 第5回ウエストマウント室内楽ワークショップ

ヴァイオリニスト白石茉奈氏ほか、ピアノ、チェロ、コントラバス奏者5名の講師陣による室内楽ワークショップが開催されます。講師陣、参加者によるコンサートも行われます。現在、ピアノと弦楽器奏者を対象に参加者を募集しております。昼の部、大人の参加者のための夜の部もあります。

期間：8月9日（金）～8月18日（日）

詳細はこちらからご確認ください。 <https://wchambermusicw.wordpress.com>

問合せ先：wchambermusicw@gmail.com または 514-621-6885（白石）

7 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

（1）政治

ア ケベック（QC）州

- ・ 5月1日、ケベック州政府在日事務所代表にケベック州投資公社アジア太平洋中東地域担当局長を務めたブルロット（Mr. David Brulotte）氏が就任。
- ・ 5月5日、州自由党は党首選を2020年春に実施する旨発表。
- ・ 5月6～7日、ロベルジュ教育大臣は4歳児教育モデル視察のためニューヨークを訪問。
- ・ 5月14日、フェランデーズ・モントリオール市議兼プラトー・モンロワイヤル区長が政界引退。現モントリオール行政は気候変動対策が十分でないコメントを発表。
- ・ 5月15日、州政府は、カナダ最高裁判所裁判官の選任に際し、推薦委員会メンバーのうち2名は州政府が任命するという合意を連邦政府と締結。
- ・ 5月17日、気候変動対策を訴え数千人の若者がモントリオール市内でデモ実施。ルゴー州首相事務所前では約50人が30分間の座り込みを実施。
- ・ 5月27日、前立腺がん治療のため休職していたラボーム・ケベック市長は段階的に復職。
- ・ 5月29日、ルブロン・ケベック州裁判所裁判官は、リビア事業をめぐる収賄容疑で訴追されているSNCラバラン社について、カナダ警察が提出した証拠は刑事裁判に足ると判断。
- ・ 5月30日、グランビー市で4月に起きた児童虐待死を受け、子どもの人権と児童保護に関する特別委員会が発足。18ヶ月以内に勧告書を発表する。

【政教分離に関する法案21の動向】

- ・ 5月7日、州議会で委員会による法案21の審議開始。
- ・ 5月8日、アンガス・リード社の世論調査によると、12月の調査と同様州民の64%が法案に賛成。
- ・ 5月21日、国連人権理事会は連邦政府に対し、信教の自由を侵害する恐れのある同法案の制定に懸念を表明する書簡を送付。
- ・ 5月30日、ルゴー州首相は、移民法案と合わせ同法案の今会期中の可決を目指し、会期延長も辞さない構えを表明。

イ ニューファンドランド・ラブラドール（NL）州

- ・ 5月16日、州議会総選挙実施。結果は自由党20議席、進歩保守党15議席、NDP3議席、無所属2議席で自由党の少数派政権となった（総議席数40）。与党が2期目にして多数派政権が獲得できなかったのは1949年にNL州がカナダ連邦に加盟して以来初。ただし6月に実施予定の再集計の結果次第では、自由党が1議席を増やし多数派政権となる可能性がある。
- ・ 5月30日、ボール州首相の少数派内閣が発足。落選した2閣僚以外は全員閣僚入りし、引き続き同じポートフォリオを担当。

ウ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

- ・ 5月8日、マクロー克蘭氏の党首辞任を受け、州自由党はロバート・ミッチェル氏を暫定党首に任命。
- ・ 5月9日、キング新政権が発足。12年ぶりに自由党から政権を奪回した進歩保守党による少数派政権。

エ ノバスコシア（NS）州

- ・ 5月11～15日、マクニール州首相の中国訪問。ファーウェイ幹部がカナダで逮捕されて以来、連邦・州含めハイレベルの訪中は今回が初。
- ・ 5月16日、ダルハウジー大学は、植物生理学者で現在豪キャンベラ大学学長のディーブ・サイニ氏を次期学長に任命。2020年1月に就任予定。
- ・ 5月23日、連邦政府は、2020年1月に閉鎖が決まっている製紙企業ノーザンパルプのポートハーバー（州北岸）排水処理場跡の除染作業のため1億加ドルを支出する旨発表。同作業のため州政府は既に2億1,700万加ドルの支出を発表している。
- ・ 5月29日、リュ駐加中国大使が2度目のNS州訪問。シーフード、農業、教育、鉱業、観光分野における関係強化についてマクニール州首相と意見交換を実施。
- ・ 5月30日、ディアブ州移民大臣は、労働力不足対策として、技能移民を対象とした新しい3年間の移民パイロットプロジェクトを発表。当面は長期介護サービス従事者とトラック運転手が対象。

オ ニューブランズウィック（NB）州

- ・ 5月2日、ヴィッカーズ州自由党（野党）新党首は、自分が州首相になった暁には炭素税制度を導入すると発言。
- ・ 5月3日、州政府は、先日の洪水被害に対する支援金支給を発表。一般家庭には最大16万加ドル、中小企業には最大50万加ドルを支給。
- ・ 5月3日、連邦政府による州への炭素税課税は合憲であるというサスカチュワン（SK）州控訴裁判所の判決を受け、SK州と同じく課税に反対しているヒッグス州首相は、判決には失望したが反対を続けるための最も効果的な方法を州内で検討していく旨発言。
- ・ 5月9日、連邦政府は、州土の3分の1に及ぶ南東地域に対する土地所有権を含む先住権原を主張するエルシボグトグ・ミクマク・ファースト・ネーションとの話し合いを開始するための覚書を締結。
- ・ 5月17日、2030年までに原油の輸入をやめ、カナダ産原油のみで国内需要をまかなうことを目指すシアー連邦保守党党首が発表したプランに対し、ヒッグス州首相は、エナジー・イースト・パイプライン・プロジェクトが復活してこそ実現可能なプランであるとコメント。
- ・ 5月29日、州上級裁判所は、救急隊員は言語能力ではなく勤務年数に応じて雇用されるべきとした労働調停委員のジョン・マクイーヴォイ氏が下した2018年の決定は、公式言語法とカナダ権利自由憲章に違反しているとして棄却。マクイーヴォイ氏の決定に対し、当時の自由党政府は司法審査を請求していた。

（2）各州世論調査結果（未確定分は除く）

ア 州議会選挙（政党支持率）

- ・ NL州（MQOリサーチ社調べ、4月25日～5月4日）：自由党48%、進歩保守党（PC）36%、新民主党（NDP）11%、NLアライアンス2%、その他3%
- ・ NL州（アバカス・データ社調べ、5月2～5日）：PC42%、自由党37%、NDP15%、

その他6%

・NL州(フォーラムリサーチ社調べ, 5月3~4日): PC 42%, 自由党40%, NDP 13%, その他6%

・NS州(MQOリサーチ社調べ, 5月3~13日): PC 38%, 自由党30%, NDP 18%, 緑の党12%, その他2%

・NB州((MQOリサーチ社調べ, 4月23日~5月6日): PC 40%, 自由党30%, 緑の党20%, ピープルズ・アライアンス5%, NDP 3%, その他3%

イ 連邦議会選挙(政党支持率)

・大西洋4州(ナラティブ・リサーチ(旧CRA)社調べ(NR), 5月6~24日): 自由党39%, 保守党36%, 緑の党14%, NDP 9%, その他0%

・NL州(MQOリサーチ社調べ(MQO), 4月25日~5月4日): 自由党49%, 保守党37%, NDP 11%, 緑の党3%, 人民党(PPC) 0%, その他0%

・NL州(NR, 5月6~24日): 自由党45%, 保守党42%, NDP 7%, 緑の党4%, その他1%

・PEI州(MQO, 4月11~16日): 自由党40%, 保守党32%, 緑の党18%, NDP 8%, PPC 1%

・PEI州(NR, 5月6~24日): 保守党42%, 自由党32%, 緑の党22%, NDP 4%, その他0%

・NS州(MQO, 5月3~13日): 自由党42%, 保守党35%, NDP 11%, 緑の党10%, PPC 0%, その他1%

・NS州(NR, 5月6~24日): 自由党42%, 保守党27%, 緑の党15%, NDP 13%, その他2%

・NB州(MQO, 4月23日~5月6日): 保守党39%, 自由党36%, 緑の党16%, NDP 7%, PPC 1%, その他1%

・NB州(NR, 5月6~24日): 保守党41%, 自由党31%, 緑の党19%, NDP 6%, その他3%

(3) 経済

ア QC州

・5月3日, スウェーデンの通信業大手エリクソン社は, 5Gに関するAI技術開発研究所をモントリオールに開設すると発表。

・5月7日, 州政府は, 前自由党政府が検討していたトロントとモントリオールを結ぶ高速電気鉄道ハイパーloop構想に現時点では着手しない方針を表明。

・5月13日, ケベック州観光業人材協議会は, 州の観光は活況だが, 約2万件の観光業雇用が埋まっておらず深刻な人手不足が懸念材料となっているとコメント。

・5月16日, ルゴ州首相はエア・カナダがエア・トランザット社の買収プロセスを進めていることに対し, 州の産業が州内に留まる形での買収は望ましいと前向きな評価。

・5月20~22日, ルゴ州首相は経済ミッションでニューヨーク, ワシントンを訪問。グリ

フィス (Mr. Wells Griffith) エネルギー政策大統領上級顧問、メネゼス (Mr. Mark Menezes) エネルギー担当次官と面会し、ケベック州の水力発電によるクリーンエネルギーを米北東部に供給する売電計画について意見交換を実施。

- ・ 5月22日、マルテル・ケベック電力公社 (イドロ・ケベック) 社長が売電計画推進のためニューヨークを訪問予定。
- ・ 5月24日、クリーン水素生産会社 Hy2gen AG (本社ドイツ) はケベック州南西部ヴァレンヌ市に工業用水素生産拠点の建設計画を発表。
- ・ 5月26日、ルゴー州首相はケベック州電化計画につき、2030年までに公共交通の石油消費量を40%削減する目標を発表。
- ・ 5月28日、ケベック港管理局は港湾メガターミナルオペレーターハチソン・ポーツ社及び鉄道輸送業CN (Canadian National) 社と連合で7億7,500万加ドル規模の新たなコンテナ船ターミナル建設契約を締結。

イ NL州

- ・ 5月28日、州営電力企業ナルコーは、本年第1四半期の収益は前年同期比1,400万加ドル増の9,200万加ドルであったと発表。大幅な値上げが懸念される電気料金について、州公共事業委員会の最終決定は今秋に下される見通し。

ウ PEI州

- ・ 5月7日、キャベンディッシュで「赤毛のアン」作者のルーシー・モード・モンゴメリを記念した公園を建設する60万加ドルのプロジェクトが進行中。パネル展示、等身大のモンゴメリ像設置等を経て8月中には完成予定。
- ・ 5月7日、カナダ統計局によると、PEI州の今年2月の風力による電力生産量は史上最高の75,531メガワット時となった。

エ NS州

- ・ 5月22日、連邦政府は、新たにカナダ沿岸警備隊の北極巡視船2隻をハリファックスのアーヴィング造船所に発注。同時にバンクーバーのシーSPAN造船所にも多目的船16隻を発注。

オ NB州

- ・ 5月6日、州運輸省は、州内の道路にまく凍結防止剤の塩化ナトリウムを、今後少なくとも2年間は州南部サセックスのニュートリエン (旧ポタッシュコープ) カリウム鉱山に発注すると発表。同鉱山の閉山に向けた作業は引き続き継続される予定。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なき

らないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）

在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）

当館ホームページ

（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）

当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）まで御相談ください。

■-----■